



夏祭り

例年になく、猛暑の続く今年の夏、夏祭り当日も朝から晴天&酷暑といった気候。そんな中、院内広場には、朝から前日に組んだやぐらを取り巻くように、模擬店が並び始め、暑い暑い1日がスタートしました。午後からはシャンテさんのコンサート、そして盆踊りと花火と今年も盛りだくさんの1日でした。

模擬店には焼きそばやイカ焼き、キャベツ焼きなど鉄板を使う店もあり、立ち込める煙が空気をゆらゆらと揺らすような光景に、一層暑さを感じましたが、スタッフも患者さんも笑顔いっぱい、お昼前には近隣の方も多く来られ子どもさんの黄色い声も響いていました。近隣の児童養護施設の子どもたちも招待し、「地域の」夏祭りとして、

定着しているのではないのでしょうか。午後からは毎年恒例、盲導犬ロックバンド「シャンテ」のコンサート。盲目の熊野さんの演奏と手話ボーカルの知子さんが登場すると、保育園の子どもたちも一緒に歌って踊りました。

その暑さのおさまる気配なく、夕刻を過ぎても熱気の続く中、盆踊りが始まると、お囃子につられて、患者さんやスタッフが踊っていました。7時からの花火を見るためにケアホームから飛び出してきた方もおられ、皆さんそれぞれの楽しみ方で夏祭りの1日を楽しんだのではないのでしょうか。暑い夜空を彩る花火が上がるたびに、大きな歓声があがり目も心も奪われるひと時でした。

基本方針

人権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定

院内花だより

院内ではB、C棟間の遊歩道で、夏の終わりから咲き始めています。ちょっと足を止めて、美しいふようの花を眺めてみませんか？



酔芙蓉

- アオイ科フヨウ属の落葉低木。
- 原産地は中国、日本。
- 樹形、葉形はフヨウとほぼ同様だがフヨウに対し、花は八重咲き。時間が経つにつれて変色していくのが特徴。
- 開花時期は、9～10月。
朝に咲き、夕方には萎んでしまう一日花で、酔芙蓉は、朝のうちは純白、午後には淡い紅色、夕方から夜にかけては紅色になります。写真は朝撮ったものですが、朝開いた白の花と夕方しぼんだ赤い花が同じ幹から伸びているのが不思議な感じ。酒を飲むと顔色がだんだんと赤みを帯びるのに似ていることからこの名がついたといわれています。

泉ヶ丘地区
安全なまちづくり
フェスティバル 2013
10月12日(土)～13日(日)
AM10:00スタート



毎年当院も主催側として参画しているイベントです。泉ヶ丘駅の噴水広場を中心に、周辺の施設で盛大に開催されます。12日には、地震体験車やはしご車体験、放水体験など子どもさんにも喜ばれる催しが一杯です。当院もブースを立てて、医療相談など地域の方をお迎えます。お近くにお越しの際は是非お寄りください。

■外来診察表 外来診察時間/9:00～12:00(受付は11:30まで)

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1 診	黒田	子安	作田	横田	黒田	横田
2 診	福田真	植月	松島	清水	横井	横井
3 診	西側	澤田	植田	澤田	西側	植田
4 診	長谷川	島本	大浦	仲山	西岡	植月
診 5 診	佐野	山田	川村	宮里	秋田	
6 診	呉家	土井	正路	永松	土井	呉家
7 診	村上智	村上智	小深田	和田	作田	小深田
8 診	西村	橋本	西村	河野い	相馬	和田
9 診	熊取谷	柏木	荒川		影山	熊取谷
診(心1)	福田晋	河野隆	中井	橋元	岩田	
診(心2)	松島					

(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)
専門外来(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。
受診の前に下記へお電話ください。
☎072-278-0381 FAX072-281-6615



診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 25床(D1病棟)
- 垂急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 51床(E2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- リカバリ mix 病棟 60床(D2病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 51床(H1病棟)
- リハビリ(精神療養)病棟 60床(F2病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F3病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 救急病棟 10:1
看護師比率 70%以上・看護補助 30:1

関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター
- 訪問看護ステーションふれあい ☎072-279-1631
- 居宅介護支援事業所
- ヘルパーステーションはんす ☎072-278-8282
- ケアホーム/こもれび・青空・そよかぜ
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 ☎072-278-0381
- ケアホームあんずの郷
堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい
堺市中区深井東町3134 ☎072-277-9555

包括支援室

包括支援室は一昨年、平成23年に阪南病院でのACT(アクト)構築に向けリハビリテーション部に開設されました。現在メンバーは精神保健福祉士と看護師の2名体制で活動しています。

ACT(Assertive Community Treatment)は、重い精神障害を抱えた人が住む慣れた場所で安心して暮らしているように、様々な職種の専門家から構成されるチームが支援を提供するプログラムです。具体的には訪問サービスなどを実施し、生活支援や家族支援、そして体調管理を含めた危機介入など当事者を中心として、必要と思われる支援を行うものです。日本ではまだ歴史の浅いACTであり、スタッフの育成や既存事業との連携、そして継続的に運営していくことなど、課題も残りますが全国では約20か所が積極的に活動されています。また、ACTと呼ばれることが多いのですが、日本語では「包括型地域生活支援プログラム」とも呼ばれています。当院では、平成24年4月から訪問活動を開始し、積極的な活動を行なっています。そしてそれぞれの利用者へケアプランを作成し、それに基づいた支援を行なっているという現状です。

業務としては、退院支援部署として患者さんへ地域移行支援も行っています。併せて、精神障害者アウトリーチ推進事業への活動として、「通院中断、未治療者への訪問活動」も重要な業務として行っています。しかし、通院中断者はわかりやすいですが、未治療者への支援という点で難しいように思います。ですが、そこは普段からの行政など関係機関との連携が重要とのこと。しかし、必ずしも当事者が支援を望んでいない場合も多く、当事者の人権を尊重するという観点では介入が難しいことも多々あるようです。

この事業は国の事業として平成23年度から実施、今年度は全国25か所モデル事業化がなされていますが、大阪では予算がつかず見送られています。ですが、包括支援室としては、支援を必要とする方がいて、その方が、健やかに地域で生活するためのサポートが必要であれば、積極的な活動を展開していきます。精神障害者の地域生活において重要な役割を担う包括支援の取り組みには更なる展開が期待されています。

秋の健康管理は万全ですか？

9月上旬は残暑が厳しいですが、下旬は気温も下がり、肌寒いと感じることもあります。体調管理の難しい時期ですが、冬に向け健康管理をすることが大切です。秋に多い事故や病気をまとめています。しっかり備えて健康にこれからの季節を過ごしましょう。

◆花粉症

季節性の花粉症として、秋にはブタクサなどによる花粉症があります。スギ花粉症より症状は軽いと言われますが、ウリ科のスイカ、メロン、キュウリやカボチャなどの口腔アレルギーを合わせ持つことがあります。

◆食中毒

キノコ狩りなどでの食中毒に注意しましょう。秋の行楽は高温多湿状態になりやすく、熱中症の心配は少ないです。ですが、キノコ狩りなどの行楽で食中毒が報じられることがあります。

◆運動会・スポーツイベントによる外傷



運動会は秋に実施する学校が多いようです。普段運動していない親が競技に参加し、病院を受診するケースも少なくありません。張り切りすぎると怪我のもと。筋肉痛やアキレス腱断裂を起こす人もいるので要注意です。

第9回 院内研究発表会



9月21日(土)、阪南病院の年間行事の一つである研究発表会を開催いたしました。病院として、臨床はもとより、研究、教育にも注力したいと、毎年実施しています。

今年は、看護、診療、リハビリ、管理の部署から11題の発表がなされました。今後、さらに研鑽を重ね、臨床の質も含めレベルアップしていきたいと考えております。



当院は敷地内完全禁煙です

◆独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター◆

日頃より、阪南病院様には、医療依存度の高い患者様の精神疾患・症状の急性期治療をはじめとする連携にご協力をいただきまして、心よりお礼申し上げます。当院は、独立行政法人国立病院機構 政策医療ネットワークの中で、肺がん、結核、難治性呼吸器疾患等を中心とした、全国でも稀な「胸部疾患専門施設」として、高度な医療を提供することが地域の期待に応えるものとの信念に基づき運営しています。肺腫瘍の内科・外科診療、結核や抗酸菌症を含む呼吸器感染症、呼吸不全に対する集中治療、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、じん肺、稀少肺疾患、呼吸器疾患に合併した循環器疾患などの呼吸器のあらゆる領域と、乳腺外科に対応可能な人員と機材を備えています。今後もこの専門性と独自性を堅持しつつ、診療、臨床研究、教育研修そして情報発信を展開していく所存ですので、ご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

- 住所 〒591-8555 堺市北区長曾根町1180番地
- 電話番号・HP 072-252-3021(代表) <http://www.hosp.go.jp/~kch/>
- 最寄駅 JR阪和線 堺市駅
- 診療科 内科、心療内科、呼吸器科、循環器科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、感染症内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

◆医療機関紹介◆



院長 林 清二 先生

◆なかクリニック◆



地域で25年間、信頼を得て診療にあたられていた笠クリニックをこの度継承しました。駅から徒歩5分という好立地から気軽に来院していただけるクリニックを目指しています。四国や大阪など様々な土地で得た色々な経験を今後は新しい風として地域の皆様にお届けできればと思います。

- 住所 590-0077 大阪府堺市堺区中瓦町1丁4-27 小西ビル 2F
- 電話番号・HP 072-221-3847 <http://www9.ocn.ne.jp/~nclinic/>
- 最寄駅 南海本線 堺東駅 徒歩5分
- 診療科 精神科

Dr.情報

院長 中川 圭一 先生

- ☆クリニックの専門:精神科一般。
- ☆クリニック特色:笠クリニックを継承。駅の近く。
- ☆患者様層:中高年の方が多いが、駅から近くと便利な場所にあるため様々な年代の方が来院されます。
- ☆座右の銘:元来心配性な方なので、一つひとつを、コツコツと確実にこなしていくことで心配事を減らすようにしています。
- ☆休日の過ごし方:しっかりと休息。 ☆趣味:旅行。 ☆血液型:A型。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~12:00	○	○	—	○	○	○	—	—
午後 16:00~19:00	○	○	—	○	○	—	—	—

D2病棟改修工事、理学療法室拡張工事について

D棟2階、亜急性期病棟では、病棟内の老朽化・新棟と比較してアメニティの格差を指摘されていました。それらを改善する目的で、病棟内各所の改修工事が行われました。7月24日(水)~26日(金)は、壁の剥がれや汚れなどの塗装と病室の改修工事が行われました。その間患者さんは、アプリコットホール(ミニ体育館)へ移動し、工事の間、日中をリクレーション活動などで過ごしていただきました。患者さんの負担を少しでも軽減し、楽しんでいただけるように、作業療法の協力のもと、ホットケーキ作りやカラオケ、DVD鑑賞などを行いました。また栄養士に協力依頼し、食事はお弁当という形で折詰にし出してもらいました。当初は、不安もありましたが、結果、患者さんからは「楽しかった。気分転換になった。」と好評価をいただきました。また、改修工事により病棟内が明るくなりキレイになったと評価も得ています。少しずつですが、できる限り、患者さん満足考えたアメニティの提供をしていきたいと考えます。

また、G棟1階の理学療法室は、拡張工事を行いました。約30㎡の拡張のため、各段に広くなるというわけではありませんが、機器を整え使い勝手よく整備していきます。今年度より、理学療法士が3名体制となり、さらに患者さんの運動機能の向上や予防的観点からも、充実した施設、設備での活動をと工事がなされたものです。機器の搬入などもう少し作業が残りますが、こちらもアメニティアップを図り、満足度の高い活動をしていきたいと考えます。